

# 報 会

# うでまくり

## 新しい時代(とき)へ

一般社団法人 福島県女性経営者プラザ

会長 安 斎 恵美子



去年は新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の事態に陥り、全世界を巻き込む大きな変化があった1年となりました。日本に於いても緊急事態宣言の発令に始まり、外出自粛要請や営業自粛要請を受け、皆さんの生活や仕事にも大きな変化が訪れたと思います。そして新型コロナウイルスとの闘いが続く中、FJJPのチャーターメンバーでもあり、永年会長としてFJJPを支えて下さった三田相談役の突然の

一般社団法人

福島県女性経営者プラザ

訃報。私にとっても当会にとっても本当に辛い2021年の幕開けとなりました。その悲しみの中から強く感じたことは、三田相談役をはじめ歴代の会長、諸先輩方が築き上げられたFJJPを今後どのように繋いでいくか。これからの課題と深く心に受け止めておきます。

当会のモットーでもあります「FJJPで親睦交流を深め、よい仲間、よい同志になり、女性ならではの感性をピカピカに研ぎ澄まし、時代の波をすかさずキャッチ! 「自分磨き」につとめながら次の女性経営者のために、トライ&チャレンジ精神とプラス思考で共に成長していく」。これらを基本とした上で、今までの歴史と伝統を重んじ

### ◆ FJJPの目的 ◆

- ① 女性経営者としての資質向上
- ② 次の女性たちのための風土づくり
- ③ 共同事業の開発
- ④ 地域・社会への貢献

ながら、更に時代にあった活動をしていくため皆で知恵を出し合い、試行錯誤しながら心をつなげて活動していきたいと考えております。

現在ワクチン接種が始まり次の段階へと進み始めたというものの、まだまだ新型コロナウイルスの暗雲が世の中を覆っています。その中でもあってもFJJPの目的を果たすためにはデジタル化が欠かせないものとなってきました。そこでFJJPも、デジタル庁ならぬ「DX(デジタルトランスフォーメーション) 準備部会」が新設されることになり、いよいよ「新しい時代(とき)へ!」の第一歩を踏み出すこととなりました。困難な時こそ女性の持つ明るいパワーで、「ウィズコロナ」の新しい生活スタイルに沿った事業を行ってまいりたいと思っております。

2021年の干支は「辛丑(かのと・うし)」。 「辛」は痛みを伴う幕引き、「丑」は殻を破ろうとする命の息吹、そして希望だそうです。辛いことが多いだけ

### ● うでまくりとは

古い川柳に「朝雨女の腕まくり」というのがある。 天気の良い朝にバラバラと急に来る雨は、女の腕まくりと同じで意気込みだけ、大したことはない...という意味。FJJP、女の腕まくりの真価はこれから!

大きな希望が芽生える年と信じ、私たち会員同士の結びつきをより強くし、辛く苦しいこの状況を乗り越えていきましょう。最後になりますが、「牛の歩みも千里」とは、努力を怠らなければ必ず成果が導かれるということ。 年女:の私、肝に銘じて頑張ります。 次年度もよろしくお願い致します。

## 新入会員募集中!!

FJJPは、会って 語って 学んで  
ホットな交流のひろばです

トライ&チャレンジ精神の  
豊かな仲間たちが、  
あなたをお待ちしています。



■問合せは、事務局まで

☎ 080-2671-8966

http://fjp-net.com

10月定例会

2020年10月13日(火)  
場所・ネーブルシティ本宮オーヴ

◆会員卓話

先輩経営者に学ぶ(その①)

ゲスト (株)マインド

代表取締役会長 佐藤和江さん

【講演要旨】

本宮で家業の東和被服を営む夫(次男)のもとに嫁いできた。専業主婦から会社経営に携わるようになったが、義父母たちとの同居生活での経験が今の介護事業に役立つている。

東和被服では防衛庁の制服などを製造していたが、その東和グループから夫と一緒に独立し、1981年に婦人服縫製業の(株)マインドを設立した。当時の衣料は国産品80%、輸入品20%で、バブル景気全盛期での創業だった。

平成に入ってから国産と輸入の割合が



コロナ感染予防のため、マスクで卓話をする佐藤和江さん

逆転し、バブルも崩壊。世の中の景気が低迷する中、事業縮小か、業種替えか、何か新しいことを始めないといけない時代だった。

阪神淡路大震災があり、その後に開催されたふくしま国体のころ、警備業をスタートし、夫婦で雑踏警備をしたこともあった。

2000年には、縫製工場を売却して自宅に本社を移し、縫製業から介護事業に転換した。8000万円の借金が残っており、マナスからのスタートだったが、定年退職以外の社員はそのまま仕事を覚えて継続雇用できた。

当時、介護事業は社会福祉協議会が中心の業界で、民間が参入するのは珍しい時代。訪問入浴車1台からのスタートだったが、利用者の方が喜んでくられて、介護で皆さんのお役に立てるようになりたいと考えるようになった。

さらに2002年からは、ダイオキシ

【佐藤和江さんプロフィール】

新潟県上越市出身。和洋女子大学短期大学部卒業。1971年本宮市へ嫁ぐ。1987年、(株)マインド設立。夫の和也さんと二人三脚で縫製業、警備業、介護事業、環境施設運転管理業などグループ企業5社を持つ企業に発展させた。2004年に代表取締役就任、2011年から代表取締役会長。

ン問題などでごみ焼却場の運営を民間移譲する動きがあり、環境施設運転管理業も始めた。最近では防犯コンサルの会社もつくり、東京の小規模多機能型居宅介護施設をM&Aで買収。

「介護、環境、防犯」というこれからの時代に必要となるキーワードで、これからは地域密着型のサービスを展開していく。



FJPには2002年に入会し、先輩経営者の背中を見ながら、様々なことを学ばせていただいている。マインドフィロソフィーを作り、「人



パワーポイントで説明する佐藤和江さん。右上写真は安斎会長。

間として何が正しいか」を判断基準に、人として当然持つべきプリミティブな倫理観、道徳観、社会的規範に従って、だれに対しても恥じることのない生き方を経営の基本としている。



社は「MIND」には、次の想いを込めた。

Manner of Politeness (さまざまな人と礼節をもって接し、その出会いを大切にす) International Point of View (国際的な感覚を持つ) Noble Belief To Support Nice Idea (素晴らしいアイデアを支える信念を持つ) Delightful Life With Excellent Dream (楽しい生活をおくる夢を描き行動する)

外部講師を招いて社内研修を年3回(10月・4月・7月)実施したり、社員のマインドストーリー発表会も開催している。福利厚生は、パサージュ猪苗代レイクサイドを利用してもらえるほか、資格取得支援、観桜会、バスツアープレゼント、子ども誕生日祝い手当(5000円)、リフレッシュ休暇制度などがあり、バスツアーカードは入ひとりに社長が直筆のカードを渡している。社員の家庭の事情に合わせた働き方ができるように、短時間勤務や夜勤専属勤務なども導入している。

11月定例会（講演会）——2020年11月10日（火） 茶寮おりおり（福島市）

「キャッシュレス社会に生きる（第2回講座）」

# 『キャッシュレス決済メリットデメリット』

講師 株式会社エフコム  
執行役員事業支援本部部長代理 山川 克 広 氏  
（中小企業診断士／ITストラテジスト／ITマスター）

第2回となる「キャッシュレス社会に生きる講座は、①キャッシュレス決済の基礎知識、②キャッシュレス推進における現状と課題、③補助金を活用してキャッシュレス化促進、④キャッシュレス決済のメリットというテーマに沿って講演をして頂きました。

キャッシュレスの定義・決済手段など具体的な説明を頂き、キャッシュレス決済の比率や普及しない理由には使う側によつて違いがあることなどをお聞きしました。キャッシュレス化のデメリットには、導入費用、資金回収までのタイムラグ、キャッシュレス支払いに対する不安などがキャッシュレス化が進まない一因になっているとのこと。一方、メリットとしては、消費者の利便性、店舗の効率化、衛生面、中小店舗のIT化などがあり、これらがキャッシュレス決済の推進になっていくのではないかとのことでした。



熱心に話しを聞く会員

国としても、需要平準化対策、中小・小規模事業者等の支援、事業者・消費者双方におけるキャッシュレス化推進策（ポイント還元などを実施する決済事業者に経費の一部を補助する）などを2019年10月1日の消費税引き上げに伴い行っているとのことでした。



**3月まとめ例会**  
2021年3月9日（火）  
場所：宴庭 燦（郡山市）

新型コロナウイルス感染防止の観点から、12月、1月、2月例会が中止となつたため、久ぶりの定例会開催となりました。会員26名が出席し、総務、事業、交流・広報委員会ごとに1年間の振り返りと次年度の活動方針について意見交換を行いました。

各委員会からは、SNSを活用した情報発信の必要性や、デジタル委員会設置、SDGsのテーマに則った活動など、前向きなアイデアが発表されました。実際に顔を合わせて開催できたことへの喜びをかみしめながら、明るく活発な

定例会となりました。会田和子事業委員長が、2月25日～3月6日の期間で会員対象に実施したFJP活動内容に関するアンケート結果について報告。4月定例会、5月定時総会のスケジュールと内容も決まりました。定例会の冒頭、12月にご逝去された三田公とうを捧げました。



3か月ぶりに開催された3月定例会。入口での検温、手指消毒、換気、アクリルパネルの設置など、新型コロナウイルス対策を徹底して開催しました。

## 新会員ご紹介

安心安全な福島県の食を

株式会社 東心水産  
取締役 山ノ井友美子さん  
(交流・広報委員会)



昨年10月より入会させて頂きました。主人が経営している水産仲卸を主に小売店グループの経営、管理をしております。

東日本大震災の津波による店舗喪失や海産物の風評被害、そして今回の新型コロナウイルスによる販売不振と取り巻く環境は厳しいですが、どんな時でも答えはお客様が持っている…そこを追求し対応できる、変化できる企業にしようと、グループ二丸で取り組んでおります。そして何より安心で安全な福島県の食を広めていける様に、一母親としても行動していきたいと思えます。

以前、「跡取り娘のマナビバ」に参加させて頂いた事があり、前会長の上石美代子さんのお話をお聞きしました。感動して涙した事を覚えています。

まだまだ勉強中の身ですが、皆様と交流できる環境を頂き感謝しております。今後とも宜しくお願い致します。

## 新規事業紹介



一般社団法人  
**BIG HELLO**  
(有) ゼスト  
佐藤直美

FJP会員3年目になる(有)ゼストの佐藤直美です。この度、新規事業として一般社団法人BIG HELLO(ビッグハロー)が、就労移行支援・就労継続支援A型事業所として2020年12月5日にオープンしました。

障害のある方へ社会参加をサポートし、一般企業就職を目指して必要知識やスキル向上のための支援をスタッフ一丸となつて行っております。体験出来る仕事内容も幅広く、水耕栽培、メダカ飼育、パン販売、運送会社業務手伝い(事務・倉庫仕事)と、個人の特性に合った取り組みが出来るよう工夫を凝らしています。

チャレンジが形になった、お客様と一緒に頑張るスタッフに喜んでもらえた、そんな沢山の成功体験を通して、自分主体で会社運営が出来るんだという

夢を持って働いて頂けたらと考えています。

水耕野菜は、水素水を使って栽培しており、浄水と比較して栄養・大きさにUPするという実証があります。

美味しさ、えぐみの無さ、摘んでそのまま食べられると特性があり、未体験の方には、是非一度ご賞味頂きたいです。

一番人気は、国産にんにくを発芽させた「にんにくスプラウト」。にんにくは発芽すると栄養価が高まり、ニオイが少なく洗練された味わいが楽しめます。生ニンニク1粒と比較してGAB A7・5倍、鉄分9倍、亜鉛4・5倍、



▲BIG HELLO 外観



▲水耕野菜(サラダ菜)



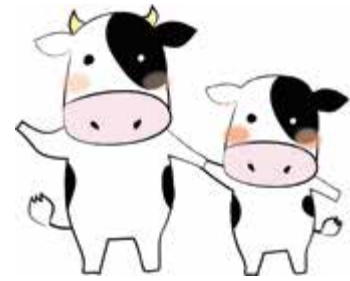
パン販売の様子▶

カルシウム8倍、マグネシウム2倍と含有量が多く、その他にもカリウム、アミノ酸、ナトリウム、マンガン、リン、銅など、栄養いっぱい!

根まで丸ごと食べられ、調理も簡単で美味しい、と絶賛頂いています。パン販売で扱うのは、社長の叔父が経営するパン工房エル・ハイナーの人気商品。平日11時半〜13時半にエスプレッソコーヒーと共に販売しています。こだわりの原材料、なのにリーズナブルで美味しいと話題。摘みたて水耕野菜も同時にご購入いただけます。お昼の時間帯は是非とも、BIG HELLOにお立ち寄り下さい。

BIG HELLO 住所: 福島県郡山市富田町字中ノ目 41  
❖お問合せ⇒ 090-5996-2956 (担当: 佐藤)

エッセー  
  
**追っかけ母ちゃん**



菅野 佐和子  
 (総務委員会)

先日の3月23日は、市内小学校の卒業式でした。

我が家の長男が昨年春に中学を卒業し高校へ進学した頃も、受験―卒業式―入学式の全てがコロナの影響で通常とは違う形で行われ、物足りなさを感じたことを思い出します。

さらに入学後も部活の大会が中止や無観客での開催。小学校のスポ少からなんとか休みを合わせて2人の息子の「追っかけ」をしていた私は、子どもの頑張りを目にする機会が少ないまま1学年が終わってしまい欲求不満な一年でした。

思えばちょうど10年前の東日本大震災の年が小学校入学で、入学式が開催すらあやしくハラハラしたと息子に話すと「ある意味ずっと記憶に残るってことだし良かったんじゃない？」と笑い飛ばす様子に、心のたくましさを感じました。

そんなまさに思春期真っ只中の長男と今普通に親子の会話が多くできているのは「追っかけ」によって一緒に過ごす時間が多かったこと、そして息子の友人達と仲良くなれたからだと思っています。

友人の話など共通の話題があることはやはり重要で、私の子育てにとっては必須だった「追っかけ」。コロナやまた最近続いている余震になかなか平穏な日々とは言えないけれど今後の緩和に期待しながら、今だけの成長を見逃さないように、そしてたとえ息子たちにはウザがられたても「追っかけ母ちゃん」を続けていきたいと思っています。

**投稿募集**



会員のエッセーを募集しています。

締切り：2021年7月末日  
 字数：700字(本文)  
 送り先：FJP 交流・広報委員会

●ふくしまの自慢①①

**古事記**

我が国最古の歴史書とされる『古事記』。皆さんは、読んでみたことがありますか？

8世紀はじめに成立した、現存する日本最古の文学的史書です。

ここに福島県会津地方が登場します。大和朝廷から派遣された四道将軍である、北陸道を北上した大毘古命(オオヒコノミコト)と東海道を北上した建沼河別命(タケヌマカワケノミコト)がこの地で出会い、地名が相津(会津)となったとされています。

その後それぞれが遣わされた国を平定し朝廷へ戻り、天下は安らぎ、人民は富み栄えたそうです。大毘古命と建沼河別命の父は会津での再会を喜び、国土開拓の神様である伊邪那岐命(イザナギノミコト)、伊邪那美命(イザナミノミコト)の二神を祀り、それが会津・東北の人々を1500年もの間、見守り続ける伊佐須美神社の起源なのです。

会津と朝廷の縁は、その後も続き、旧会津藩主・松平家の系統である、雍仁親王妃勢津子(やすひとしのうひせつ)・旧姓松平節子)様と昭和天皇の次弟・秩父宮雍仁親王との婚儀が行われたことは歴史的にも大きな出来事だと思えます。当時、勢津子妃の皇室への入輿は、旧会津藩の士族の復権に繋がり、会津での感激は並ならぬものであったといえます。

日本の初代天皇である神武天皇は、古事

記によれば天照大御神(アマテラスオオミカミ)の五世孫とされ、国生み伝説で有名なイザナキから生まれたアマテラスが天皇家の祖先様、つまり日本の神々が脈々と続く天皇家の血統であったという事実も、古事記を紐解かなければ知れない情報です。

このようなことは、現在の学校教育課程ではなかなか教えてもらうことが出来ません。戦前までは、その機会があったということですが。現在、「地理・歴史」とは別に「日本文化」を教え伝える科目がないことが大変残念です。

古事記・日本書記を始め、古典文学、古典芸能などについて、世界の中で対峙しつつ教わり、受け継いでいくことが、歴史ある日本人としての尊厳を多世代にわたり保ち続けるためにも、必要なのではないでしょうか。

まずは自分たちの歴史を紐解く古典に親しんでみませんか？きつと、静かな自信が湧き上がってくることでしょう。



▲伊佐須美神社



▼雍仁親王妃勢津子様

佐藤 直美

三田公美子さん

## 追悼

心より冥福を  
お祈りいたします

## 三田公美子さんへの手紙

菅野 喜久江

「昔話すつべな」と話したのは昨年の夏のおわりでしたね。この願いも叶わず先に行ってしまうなんて…。

ミー坊、フナと呼び合って60数年、中学、高校時代とソフトボール部で辛い練習に汗を流し全国大会出場の後、淡路島の浜でミー坊は私を「マッコウクジラに似てる」と言うので乙女心がうんと傷ついたよ(笑)、輝いていた高校時代の終わりに燃え尽きた我々が今度は当時流行していたハワイアンバンドを作ったね、もちろんバンマスはミー坊でスチールギター担当、その名も「ソーレ三田とタヒチアンレディス」この演奏は卒業パーティーでそうとう受けたね、その後社会人となりそれぞれの道へ、そしてFJPへの誘いで又同じ活動の場を頂きました。

本当にありがとう！

## いつかお会いする時に

上石 美代子

FJPで過ごした三田相談役との時間はとても楽しいものでした。ご経験されたことや感じていること、又は仕事人生で気をつけることなどをいつも楽しい口調でお話して下さいました。

ある例会での別れ際、会長を退任した私に「会長を務めて『ゆるす』を学んだね。」とおっしゃいました。どの字？と思いましたが、難しい漢字の「ゆるす」とのことでした。

FJPの更なる発展をいつも願っていた三田相談役に、いつかお会いした時、褒められるように、私も微力ながらFJPに力を注いでまいりたいと思います。そして、次回お聞きする予定だった『ゆるす』のこともお聞きしたいです。優秀でお茶目で深い思いやりのあつた三田相談役を、私は尊敬するとともに大好きでした。

永い間ご指導いただき、本当に有難うございました。

心から冥福をお祈り申し上げます。



## 心と愛は永遠に在り

会田 和子

三田公美子さんが颯爽と生き抜き、そして天国へ召された。「人生には意味がある」と語り、いつも不思議な漂う存在感で包み込んでくれた。相手を引きつける会話は抜群に楽しく、人の褒め方も誰よりも上手。「励ましの名人」である一方で、ゴーマンさや権力を嫌い、反骨精神で世相を斬る。厳しい表情とは裏腹に、時折みせる恥じらいのしぐさは「くみちゃん」の可愛さそのものだった。

FJPの活動においても、先導的な役割を担い、素敵な贈り物を沢山残してくれた。ともに笑い、ともに喜びあえる幸せを沢山いただいた。その心と愛は永遠に在り…心から感謝して。

## 三田さんの教えを胸に

瀬戸 孝子

令和2年12月28日。福島県女性経営者プラザの設立発起人であられます三田公美子さんがご逝去されました。年末でもあつたため、公表することもなく、社内と身内の方だけでお葬式を済ませられました。後に『しのぶ会』を催

されるようです。

最期は眠るように静かに息を引き取ったとのこと。長年病氣と闘ってきた本人にとってはさぞかし無念であったと思いますが、私から言わせてもらえば『あっぱれ！』としか言いようがない生き方だったと思います。

私が三田さんと出会ったのは、20数年前のことで、まだ50代のバリバリのキャリアウーマンでした。私にとっては雲の上の人でしたが、やさしく接して下さいました。人の心を見抜く鋭いところもあり、間違ったことが大嫌いな方で、正しく指摘をして下さり、生き方を勉強させていただきました。たくさん情報も持っていましたし、本もたくさん読まれていることで、先見の明があり、多くの知人もいることで、数々の講演会を振り返ってみても普段ではなかなか聞くことができない著名人を講師にお迎えし、会員と子ども勉強をさせてくれました。

私にとつて、FJPに参加するための往復の車中の会話が楽しい思い出となりました。

私も、三田さんの教えを無にせず、三田さんの生き方に近づけるように生きていきたいと思えます。感謝…。



FJP 設立 20周年で挨拶  
2015.11.26



FJP 野外例会 2016.6.10



おちゃめな三田さん 2012.9.7

# memory



笑いあり、涙ありの「会員に聞く」(例会)では最高の  
コーディネーターとして… 2014.4.13



監事退任で新会長から花束を  
2020.4.21



新年会では、  
こんな一面も  
(;-;



2015.11.26 ホリエモンこと堀江貴文氏の講演会を開催(郡山市文化センター) 左から4人目が三田さん

各委員会——活動報告

●総務委員会

総務委員長 古川節子

昨年は、コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言により、総会は設立以来初の書面表決となりました。このまま例会の中止が続くとFJJPの活動が止まってしまう...と思っていました。が、皆様のガンバリで9、10、11月と充実した例会を開催することが出来ました。特に9月の委員会かくし芸大会は、各委員会とも目覚ましいレベルアップが見られ、恐るべしFJJP（良い意味です）が健在であることを再確認しました。

次年度はデジタル化の波にどう乗っていくか。悩みどころですが、やはり企業人としては遅れないことが大事かと思えます。皆様の更なるご協力をお願いするとともに、総務委員会もストレスフリーの運営を目指して参ります。

●事業委員会

事業委員長 会田和子

いつも柔軟な発想力で事業委員会をリードしてくれた三田相談役。昨年7月の定例会でマイクを強く握りしめ、

鋭い質問をしてくれたのが最後になりました。

昨年は新型コロナ感染症対策で「開催中止」が続く中、対外講師による2回の定例会、一泊二日の宿泊を伴う9月定例会など予定通り実施できました。快挙です。また、三密を守りながら澤上副会長のお店に集い、美味しいお食事で飛沫に気を配りながら静かに、大いに語り合うことができました。委員会の発案で、3月には会員対象に小さなアンケートも実施。いざという時に連帯できるのも事業委員会の強み。新年度も三田相談役の教えを守り、横糸と縦糸をうまく調和させて響き合える楽しい活動を目指したいと思います。



講演会で講師に質問をする三田相談役 (2020.7.14)

●交流・広報委員会

交流・広報委員長 長沢美起子

今年度は、コロナ禍で定例会の開催思う様に行われなく、退会される会員の方も多く残念な年になりました。

“コロナと共存”

横山りつ子

コロナ禍でお店は休業状態。今、マスクは必需品だ。そこで、毎日が遠藤周作状態の私に手縫いの楽しみが出来た。

マスク入れは古い着物をほどいて作った。気が付いたことがある。和裁の上手な人の仕上げたものはほどき易い。和裁はとても時間のかかる丁寧なものだと、改めて感動する。



あずま袋



マスク入れ



カフェカーテン



マスク

編集後記

.....

委員会は、3月に行い今回も原稿依頼等各委員の方が動いて何とか「うでまくり」2回目を発行することが出来ました。今回は三田相談役の追悼原稿を寄稿いただきありがとうございます。心より感謝申し上げます。

4月から新しい年度になりますので、難しい状況ですが、会員の拡大に皆さんのご協力をお願い致します。



男女平等と言われて久しいですが、世はまだまだ追いついていないと感じることが多いこの頃です。日本は、先進国の中で女性の社会進出が170位。まだまだ低い数値です。亡き三田相談役が、アメリカ大統領選でさえ女性を拒むと話していたのを思い出しました。FJJPも、三田相談役や諸先輩の遺志を繋いで、もうひとまくり腕をまくって進みたいものです。これからは私たちFJJPの真価が問われる時ではないでしょうか。

(長沢美起子)